スタート助成金

4 下ヶ戸コミュニティサロン ふれあい館

守谷市

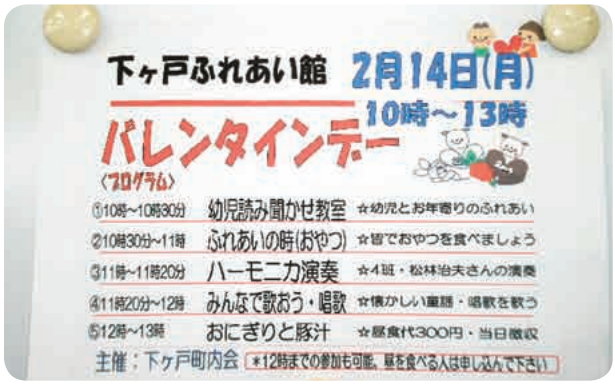
サロン開設年月日	平成22年8月1日
開催日及び開催頻度	週3～4回　火・木・土・日曜日（9：00～17：00）（夜間は申し込みにより受け付ける）
開催拠点	下ヶ戸コミュニティサロン ふれあい館
代表者氏名	髙木　保
1回の参加人数	平均5～10人
1回の運営スタッフ数	平均1～2人
参加費	無料（町内会費にて運営，但し実費のかかる活動は個人負担）

事業名

空き家を利用した地域のふれあいを深める事業

目　的（趣旨）

◉私たちの町は公園も自治会館もありません。通常，何かの集まりをする場合は，１キロ程離れた改善センターを使わせて頂いています。それでも，他に例がないほど活発な町内活動を進めています。交流とふれあいの場としてのサロン開設により，地域住民のコミュニケーションを一層深めるのが狙いです。



対象者や具体的内容

◉高齢者：出前サロンの開催や，集まって話しをしたり，ゲームを行ったりします。

◉幼児とその親:公園デビューの代わりにサロンデビューをしてもらいます。

　また，小学生等の遊び場としても活用します。広い年代が同時に利用できる活用を実施します。

財源の確保

◉町内会総会で会員の了解を取り付け，町内会費の中に運営費等を予算化しました（サロン開催場所の家賃は行政が負担・月額100,000円）。

生活課題への対応

◉当地区は，道路が狭く，公園や自治会館もなく，子どもや高齢者にとって極めて危険な地域です。サロンは，安心して過ごせる安全な場所の提供であると共に，高齢者と子どもたちが自然とふれあえる空間となります。希薄となっている地域の絆の復活を目指す事業です。

地域の社会資源の活用

◉町内にあって２年間ほど空き家となっていた家を利用しています。
◉当地区でも経験豊かな団塊世代のリタイヤ組が増加しており，この人たちのノウハウを活用し，パソコン教室や陶芸なども実施しています。

継続させるための工夫

◉町内会会員世帯，老人会，子ども会などの定期的な活動の場として活用しています。
◉行政と協力して出前サロン等を開催し，高齢者が気軽に集まる場としています。
◉町内会役員は，各種の催しを企画・実施し，利用頻度を上げる。

他のサロンにはない特徴

◉行政と町内会が，協働で取り組む事業です（地域の活性化を促進する協働事業）。
◉市が提案した空き家を利用した地域のふれあいを深める事業の第１号地区です。

サロンのＰＲポイント

◉特に高齢者と幼児・子供のふれあいを推進するため，室内の約半分に可動式の畳を敷き，自然に交流ができるようにしています（床がPタイル仕様のため）。

委員からの一言コメント

守谷市で勧めている空き家を利用をしたサロンで，守谷市で初めて月100,000円の補助で立ち上げたサロンですが，下ヶ戸町内は日頃から町内の活動が素晴らしく防災，防犯，その他の活動も全て連携ができている町内ですが，たった一つの欠点は集まる場所がなかったこと，それが市の補助でようやく待望のサロンが出来てお子さんから高齢者まで幅広い世代が本当に楽しく過ごしている様子をみてあらためてサロンの大切さを考えさせられました。これでこの町内はより充実した暖かいまちになったと思います。（染谷桂子　委員長）